

## 教育委員会定例会議事録

令和2年12月23日 午後2時00分 開会

## 出席委員

教 育 長	高 本 訓 久
委 員	菅 沼 由 貴 子
委 員	渡 辺 時 行
委 員	戸 苺 恵 理 子
委 員	山 田 清 志

## 説明のための出席者

教育部長	原 田 潔
教育部次長	高 橋 純 司
教育部次長兼学校教育課長	河 原 克 明
教育部次長兼中央図書館長	近 藤 慎 一
庶務課長	酒 井 保 吏
生涯学習課長	林 弘 之
スポーツ課長	梅 野 忠 彦
学校給食課長	林 俊 光
中央図書館主幹	尾 崎 浩 司

## 教育長が指定した事務局職員

主 事	柴 田 訓 代
-----	---------

## 議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 第32号議案 教職員の任用について（非公開）
- 第3 第33号議案 豊川市生涯学習センター管理規則の制定について
- 第4 その他報告 令和2年12月定例会市議会における教育問題について
- 第5 その他報告 令和3年度小中学校入学式・始業式の日程について

「高本教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、直ちに会議を開きます。始めに、日程第1「議事録署名委員の指名」を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、菅沼・渡辺両委員を指名いたします。よろしくお願ひします。

「高本教育長」 続きまして、日程第2、第32号議案「教職員の任用について」を議題といたします。なお、本案は教職員の人事に関する案件ですので、議事を非公開とし、会議内容の議事を別に記録することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認め、本件は非公開で行います。それでは、事務局からの説明をお願いします。

「河原教育部次長」 第32号議案「教職員の任用について」を資料に基づき説明。

(以下、議事内容は個人情報に関わるため議事を非公開)

「高本教育長」 続きまして、日程第3、第33号議案「豊川市生涯学習センター管理規則の制定について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「林生涯学習課長」 第33号議案「豊川市生涯学習センター管理規則の制定について」を資料に基づき説明

「高本教育長」 先の定例会で議題として提出した豊川市生涯学習センター条例が議会の承認を受けましたので、次のステップとして、利用に関わる管理規則を制定するというものです。この件について、ご質疑がありましたらお願いします。

「渡辺委員」 最近、押印の廃止についてニュースになっています。この規則に定める許可証等の様式には「印」の文字がありますが、これについてはどのような整理になりますか。

「林生涯学習課長」 押印の在り方については、全庁的な検討課題として現在検証中です。なお、生涯学習会館の利用申請においては、現状でも申請者が利用申込の際に提出する申請書については押印不要としており、申請に対して教育委員会が発行する許可書については公印を押しています。

「山田委員」 以前どこかの施設を利用した際に、利用許可申請書と利用許可書が複写式になっていて、手書きする必要があったため、複数日の申請の際に苦慮した記憶があります。現在も同じような申請方法なのですか。

「林生涯学習課長」 利用許可申請書や減免申請書については、ホームページからダウンロードできるようになっています。データ形式はPDFとワードファイルの2種類用意していますので、ワードファイルのほうを使用いただければ、コピー&ペーストで入力できますので、手書き申請と比較すると、手続きに係る労力は削減されているのではないかと思います。なお、市内一部施設においては、今でも複写式の申請書を使っているところがありますが、そのような施設でもホームページから様式がダウンロードできるようになっているはずです。また、現在は、施設の空き状況を愛知県

の施設予約システムで確認し、利用申請書を提出いただいている状況ですが、今後はシステム上において申込申請までできないか検討しているところです。

「高本教育長」 他の公共施設においても、同じように管理規則が定められていると思いますが、今回生涯学習センターだからこのような規則があるといった特徴的な条項などはありますか。

「林生涯学習課長」 基本的に生涯学習センターは、文化会館や勤労福祉会館と同じような管理規則としており、大きな違いはありません。ただ、それぞれ予約申請できる期日が異なっており、生涯学習センターは3か月前から、文化施設は6か月前から、文化ホールは1年前からという違いがあります。

「高本教育長」 他にありますでしょうか。特にご質問、ご意見がなければ採決を行います。本案は原案のとおり可決し、この規則によって4月1日から実際に運用していくことにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認めます。日程第3、第33号議案「豊川市生涯学習センター管理規則の制定について」は原案のとおり可決いたしました。

「高本教育長」 続きまして、日程第4、その他報告「令和2年12月定例市議会における教育問題について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「原田教育部長」 その他報告「令和2年12月定例市議会における教育問題について」を資料に基づき説明

「高本教育長」 新型コロナウイルス感染症を受けた図書館の状況についてと、児童生徒の欠席状況などについての質問があったとのこと。この件について、ご質疑がありましたらお願いします。

「高本教育長」 中央図書館に伺います。答弁の中で、前年度比の利用者数が6月は半減したものの徐々に持ち直しており、現在は8割程度まで回復したとあります。感覚的なもので結構ですが、直近の利用者数はどのような感じでしょうか。

「近藤中央図書館長」 先週の土日は、パブリックビューイングや読み聞かせ、ファミリーコンサートなどを行ったこともあり、多くの方にお越しいただきました。だいぶ人が戻ってきたとその時は感じましたが、今日はかなり利用者が少なく、日によってばらつきがあるという状況です。

「高本教育長」 これから冬休みに入りますが、閲覧席における学生の利用状況はいかがでしょう。

「近藤中央図書館長」 学生の利用状況については、あまり変化がない印象です。テスト週間は、利用者数が非常に多くなりますが、それ以外の期間は落ち着いています。

「渡辺委員」 学校教育課に伺います。高齢者施設でコロナウイルスによるクラスターが発生したなどよくニュースになりますが、学校では感染者が出た場合でも、クラスターになる、周りの子どもたちにも感染する、というようなことをあまり聞きません。豊川市の学校においても同様で、学校における感染症対策がきちんとなされていることの裏付けであり、先生方の努力の賜物だと思います。教育委員会から各学校へは、暖房を使いながら換気もするようになるなどの注意喚起をしているということですが、それを運用する先生方が実際にどうしたらよいか分からないなど、何か困っているということはありませんか。

「河原教育部次長」 各学校には、新しい生活様式についての通知をしています。この通知は実務的な内容になっていて、例えば先ほどの冬季における対応については、暖房を使用する際も換気を行うこと、その際の窓の開け幅や、換気する間隔の目安など細かなものとなります。さらに、換気することで、窓側席の子どもがとても寒くなりますので服装についても配慮するようにということなども含めています。このように実務的で詳細な通知としたこともあり、特段、学校から通知内容に関する問い合わせは寄せられていませんし、各学校において徹底した対策をとっているところです。

「高本教育長」 これに加えて、学校ではインフルエンザ対応として、うがいなどについても徹底しています。

「河原教育部次長」 教育長が言われたとおり、各学校においてはコロナ対策だけではなく、従来通りインフルエンザ予防の対策も積極的に行っています。

「高本教育長」 渡辺委員が言われたように、学校ではコロナ対策を徹底的に行っていることからクラスターにならずに済んでいます。コロナ対策だけでも非常に大変なことです。これに加えて、インフルエンザ対策なども徹底していく必要があるということで、学校現場は非常に大変な状況であるということです。他にありますでしょうか。

「山田委員」 中央図書館に伺います。先ほど、図書館の来館者数がコロナ禍において大きく減少したが徐々に戻りつつあるということでした。一方で、来館を伴わない電子図書館については前年度比1.6倍の利用があるとのこと。電子図書館の利用者数については、年々増加していますので一概には言えないかもしれませんが、コロナが落ち着いて通常の生活環境に戻った場合、電子図書館の利用者数がどうなるか気になります。例えば、先ほどの話で、6月に最も来館者数が落ち込んだということでしたが、反対に6月の電子図書館利用者数が大幅に上昇したのか、また、来館者数が徐々に戻るにつれて、電子図書館の利用者数は逆に減少傾向にあるなどといったことはあるのでしょうか。

「近藤中央図書館長」 コロナ禍を受けて、電子図書館については前年度比1.6倍、多いときは2.3倍になった月もありました。全体的に増加傾向にありますが、今回の12月補正においても2,000万円の電子図書購入に係る予算を計上しており、電子図書のラインナップを大きく充実しますので、今後も電子図書の利用者数は増加していくものと考えています。

「戸荻委員」 学校教育課に伺います。答弁の中で起立性調節障害が要因となって欠席や遅刻をしている児童生徒について触れられています。以前、総合教育会議の中で不登校についての議題があった時に、この障害の話題が出ました。起立性調節障害については、自立神経系の不調から立ち眩みや目まい、倦怠感や動悸などの症状が発生し、特に起床時に症状が強くなるということで、不登校の初期症状と似ているとのことでした。これにより心理的な問題と混同され、誤解されやすいというものでした。一方で、この障害への認識が広く浸透していない状況を踏まえて、愛知県や市の教員研修会などでも取り上げていくということです。誰にでも起こりうる病気だと思いますので、保護者や周りの大人もこの病気についてしっかり理解し、フォローしていくことが大切なのだと思います。

「河原教育部次長」 質問された神谷議員も、この起立性調節障害をより多くの方に知っていただく必要があるということで、今回一般質問をされたということでした。この起立性調節障害については、岡山県教育委員会が起立性調節障害のガイドラインを作成しており、岡山県に了解を得ましたので、そのガイドラインを資料として校長会で配布し、各校でも周知する予定です。

「戸荻委員」 ありがとうございます。

「高本教育長」 養護教諭だけでなく、多くの方がこの障害について理解することが大切なので、研修などを通じて広く周知いただくようお願いします。

「山田委員」 不登校の児童生徒について伺います。令和元年度では、小学校が94人、中学校が201人とのことですが、この出現率は他市と比較してどうでしょうか。

「河原教育部次長」 愛知県平均との比較となりますが、全体としては県平均よりも若干低いくらいです。これからも不登校の児童生徒を出さないように、魅力ある学校づくりに努めます。

「高本教育長」 他にありませんでしょうか。特にご質問、ご意見がなければ「令和2年12月定例市議会における教育問題について」の報告は以上とさせていただきます。

「高本教育長」 続きますので、日程第5、その他報告「令和3年度小中学校入学式・始業式の日程について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「河原教育部次長」 その他報告「令和3年度小中学校入学式・始業式の日程について」を資料に基づき説明。

「高本教育長」 この件について、ご質疑がありましたらお願いします。

「渡辺委員」 今回、豊川市の聖火リレーの影響で、1学期の始まりが例年よりも1日遅くなるという事ですが、これにより夏休みの日数を1日減らすなどの対応がとられるのでしょうか。

「河原教育部次長」 現在、開始日を1日遅らせるだけで、他の休み等でその分調整するという事は考えていません。

「高本教育長」 他にありませんでしょうか。特にご質問、ご意見がなければ「令和3年度小中学校入学式・始業式の日程について」の報告は以上とさせていただきます。

本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会は閉会といたします。

(午後2時55分 閉会)

この議事録は真正であることを認め、ここに署名する。

教 育 委 員

教 育 委 員